

統計資料は沖縄開発庁・沖縄総合事務局農林水産部の第1次から第11次までの沖縄農林水産統計年報を用いた。本文で使用した資料の図及び表の掲載についてはその用途に応じて参考的なものは巻末に資料として一括してつけた。

#### 1) 調査地域の位置と社会経済的条件

調査対象地域の地図は図1に示した。

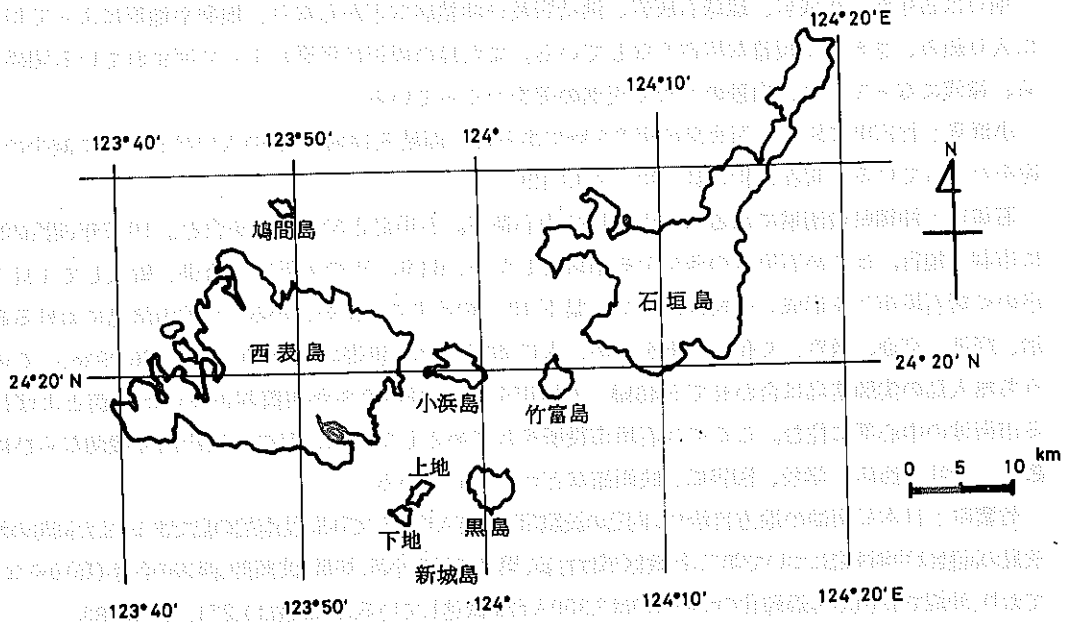


図1. 調査対象地域

調査地域の地理及び地形の説明は沖縄タイムス社刊「沖縄大百科辞典」(1983)より関係項目の説明文の一部を引用する。

**八重山諸島**：琉球列島の南端に位置し、大小31の島々からなる島嶼。同諸島と宮古諸島を総称して<先島>ともよばれる。総面積584.67km(沖縄県の26%)。そのうち有人島は石垣島(石垣市)をはじめ、西表島、波照間島、黒島、小浜島、竹富町、新城島(上地島、下地島)、鳩間島、由布島(以上、竹富町)のほか与那国島(与那国町)の計11島で、1市2町、人口は46,171人(県人口の4%)。尖閣諸島(9島)など20島が無人島である。波照間島は日本の最南端、与那国島は日本の最西端に位置する。亜熱帯性気候に属し、石垣島の場合、気温の平年値23.7℃、湿度79%、年間降雨量2,097mm。同諸島は台風常襲地帯として知られ、多大な被害を受けることも少なくない。復帰後西表島の亜熱帯天然林及び同島と石垣島間の広大な石西礁湖が西表国立公園に指定された。

**石垣島**：沖縄県最南西に位置する八重山諸島の主島。全島石垣市に属する。沖縄本島から南西へ約447km、台湾へ約260kmの地点にあり、北緯24°20′、東経124°09′に位置する。面積221.09km。島の海岸線は入江部あり突出部ありで変化に富む。その形状は、島の東北部に細長く突出した平久保半島があって、一見柄杓型の島。年間平均気温は23.7℃で、年中を通じて気温の変化が少なく、亜熱帯海洋性気候のもとにある。